

サイバーセキュリティ人材育成取組方針

～事業継続と価値創出に向けた産学官連携の推進～（概要）

- 「サイバーセキュリティ人材育成プログラム」（平成29年4月決定）、「中間レビュー」（平成29年7月決定）を踏まえ、①経営層によるリスクマネジメントの一環としてのサイバーセキュリティ対策の推進、②戦略マネジメント層の人材像や各人材層におけるモデルカリキュラム等について、それぞれ「セキュリティマインドを持った企業経営WG」（主査：林紘一郎情報セキュリティ大学院大学教授）、「サイバーセキュリティ人材の育成に関する施策間連携WG」（主査：後藤厚宏情報セキュリティ大学院大学学長）において検討を実施。
- 本取組方針の内容を今夏策定する次期サイバーセキュリティ戦略に反映し、具体的な取組を推進。

	経営層	戦略マネジメント層	実務者層・技術者層
役割	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスやサービスの着実な遂行（任務保証）が重要 ● <u>事業継続と価値創出のためのリスクマネジメントの一環として、対策を推進</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>事業継続と価値創出に係るリスクマネジメントを中心となって支える役割</u> ● <u>経営層の方針を踏まえた対策立案、実務者・技術者の指揮</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>方針を踏まえたセキュリティ対策の企画・構築・実施</u>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ <u>リスクマネジメントに向けた、経営層の理解と意識改革の推進</u> ◆ <u>業種・業態の違いを踏まえた、サイバーセキュリティの位置付けの明確化とリスクマネジメントの浸透</u> ◆ <u>取組に対する経営上のインセンティブ付与</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ <u>マネジメント機能の中でサイバーセキュリティリスクを考慮する必要</u> ◆ <u>戦略マネジメント層向けの適切な教材やプログラムが存在しない</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ <u>経営層・戦略マネジメント層を支え、他の専門人材とチームの一員として対処できる人材の育成</u> ◆ <u>新たな技術やシステム開発手法の知識・スキルの育成</u>
今後の施策の方向性（産学官の連携）	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>経営層の理解と意識改革の推進</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営層が果たすべき役割、認識の共有 ✓ 経営層向けのツールの検討 ✓ 経営層向け伝道師の発掘・派遣 ✓ 「経団連サイバーセキュリティ経営宣言」の普及 ○ <u>業種・業態別の差異を踏まえた基盤の整備</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 業種・業態別に対策レベルを示すツールの整備 ✓ 企業関係法制度の整理に向けた検討 ○ <u>サイバーセキュリティ投資のためのインセンティブ</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報開示の推進（ガイドラインの策定等） ✓ 税制優遇の執行やサイバー保険活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>組織における戦略マネジメント層の定着</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 戦略マネジメント層の意義に対する経営層の理解の推進 ✓ 戦略マネジメント層の機能の明確化 ✓ 戦略マネジメントとセキュリティ対策が調和した指針の整備 ○ <u>カリキュラム・教材開発と学び直しの推進</u> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>サイバーセキュリティ人材育成施策の充実・強化と施策間連携の推進</u> ○ <u>人材育成の「見える化」の推進</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 米国の取組等を参考にしつつ、産学官連携により需要と供給の「見える化」を推進 <p>[例] 人材規模・キャリアパスの明確化、カリキュラム・教材等が一覧になったポータルサイトの整備、育成プログラムの適切な評価基準の策定等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>経営層・戦略マネジメント層を支える人材育成</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 産学官連携によるカリキュラムの検討・実施 ○ <u>クラウドや先端技術等の利用に係る人材育成</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 先端技術等の利用に関わるセキュリティの知識・スキル育成
人材規模・キャリアパス（需要）と、人材育成施策（供給）の好循環			

若年層における教育の充実

- ＜課題＞ ICTの基本的な原理・仕組みなどを理解し、論理的思考力を育てるとともに、情報モラル教育も重要
 ＜施策＞ 初等中等教育段階での教育課程内の取組に加え、地域や企業等で、自由に機器・ツールを用いて学べる機会を創出

中小企業関連の取組

- ＜課題＞ 知識・スキルが十分ではなく、セキュリティ対策への投資が困難。踏み台となった場合、社会への影響が大きい。
 ＜施策＞ 業種毎のアプローチ、セキュアモデル（クラウド活用等）と一体の対策集の策定・普及、インセンティブの仕組（税制優遇等）の検討